

1995年(平7年)1月17日の午前5時46分、兵庫県南部を襲った、いわゆる阪神淡路大震災は6400人以上の犠牲者を出すなど甚大な被害をもたらしました。

震災から27年、私たち生かされたものたちの使命は、決して忘れないこと、あの日の事を次の世代に語り継ぐこと、そして、その経験を生かすことです。そして、震災後に生まれてきた君たちもその使命を受け継いでいかなければならないのです。

いつ、また、震災や津波が私たちを襲うかもしれません。しかし、生きることを諦めてはいけません。常に危機意識を持ち続け、大切な命を自分自身でしっかりと守り続けてほしいと思います。

それでは、起立してください。震災の犠牲となり、尊い命を失った方々に哀悼の意を表し、黙祷を捧げたいと思います。